

2020年7月16日

2020年度第2四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2020年度第2四半期決算を発表しました。

第2四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 35億ドル(希薄化後1株当たり0.37ドル)の当期純利益は、主として新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大に伴う厳しい経済見通しに関連した40億ドルの引当金の積増しによる影響を含んでいます。
- 貸倒引当金繰入額は、40億ドルの引当金の積増しにより増加して51億ドルとなりました。
- 収益(支払利息控除後)は、3%減少して223億ドルとなりました。
- 非金利費用は、1%増加して134億ドルとなりました。営業効率は60%でした。
- 事業セグメントの貸出金及びリース金融残高は960億ドル(11%)増加して1.0兆ドルとなりました。
- 預金残高は、2,827億ドル(21%)増加して1.7兆ドルとなりました。
- 普通株式等ティア1(CET1)比率は、前四半期比で上昇し、最低要件である9.5%に対し、11.4%(先進的アプローチ)となりました。
- 普通株式1株当たり純資産は、6%増加して27.96ドルとなりました。普通株式1株当たり有形純資産は、5%増加して19.90ドルとなりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。